

## 報告

## 第41回全国頸髄損傷者連絡会・兵庫大会 ーバリアフリー観光を企画・実施をしてみてー

兵庫頸髄損傷者連絡会 米田 進一

### 1. はじめに

私が会に所属して7年余りだが、毎年各地で行われてきた大会である。今年は私が所属する兵庫県で2度目の開催地という事で、初めて大会の準備から携わる機会を得た。その報告をしたい。

### 2. 大会のテーマ

実行委員会を立ち上げ、交通の利便性から、会場は神戸勤労会館に決め、神戸という街で何をテーマにするのかを話し合った。震災から19年が過ぎ、復興し生まれ変わった神戸を体感して欲しかった事から、「震災からの復興と観光バリアフリーを見る in 神戸」とした。

### 3. 観光バリアフリー調査の過程

限られた時間の中で神戸という街を楽しんで貰う為にはどうしたらよいかを考えた。候補に挙げた観光場所の中から話し合った結果、参加者が選択できるように3つのコースを作ることにした。Aコース・北野異人館、Bコース・南京町、Cコース・ハーバーランド、その中で私が担当することになったのはBコース。中華街から震災スポットを巡る「神戸のグルメを満喫するぞ」を担当することになった。

実地調査を始めると、バリアフリー化が進んでいるとはいえ、スロープはあるものの玄関の間口が狭く入れない、エレベーターも間口がギリギリである、細かい段差等、様々な障害があった。どこのバリアフリー化も最小限の設備を整えているだけの場所が多く、ホームページ等でバリアフリー化をうたっている

も、行ってみると電動車椅子では難しい所があり、実際に現地で実地調査をしないと解らない所があった。情報として「バリアフリー化している」と提示することは安易な事でも、我々車椅子に乗る者にとっては、より詳細な情報を求めているのである。

### 4. バリアフリー観光の担当を務めてみて

大会当日、11時半集合、11時45分出発の予定が、様々な事情で出発が遅れ、実際には12時を回ってスタートすることになった。当日の最高気温は27度、炎天下の中、勤労会館から南京町までのコースは体温調節の利かない頸損である私達の身体には辛いものとなった。日曜日ということもあり、人が多く、障がい者に対して、理解のある方ばかりではない為、移動にも、想定していたより時間がかかった。南京町に着き食事となったが、もともと店舗内に入れる所が少なく、調査時より人が多く、昼食時でもあり、屋外にて屋台のものを食べることになった。その後、南京町からは、時間に制約もあり、予定していたコースの変更を余儀なくされた。日陰を通るようにしてはいたが、参加者の中には帰る時間や、気温の上昇に伴い、体調を崩す方もおり、最終的に7人から3人になってしまった。

### 5. 最後に

観光を通して見えてきた事は、協力者に伝えることの難しさ、(ハートビル法に準拠していても最小限の設備しかない事から)車椅子ユーザーにとって利用しにくい建造物や設備があること、人の心にある壁等、様々な障壁が存在している。その現状に対して私達は、一つ一つの事を、当事者、関係者、個人、公人等、様々な人達とお互いに向き合い、話し合い、理解を重ね合う事で、普通の日常を送る事が出来る様に、これからも努力をして生きていきたい。

兵庫頸髄損傷者連絡会

〒674-0068 兵庫県明石市大久保町ゆりのき通  
2-3-5-1-205 (三戸呂 方)